

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：令和5年(2023年)1月16日(月)

地域企業紹介 No. 82

株式会社昭和真空

“真空技術”でスマート社会の先にある未来づくりに貢献

真空装置の技術革新に継続的に取り組んでいる株式会社昭和真空の小侯邦正代表取締役執行役員社長を相模原市中央区田名の本社工場に訪ねました。

今年、創業70年を迎える同社は、昭和28年に創業者である小侯守正氏（現社長の実父）が「小侯真空機器研究所」を起業し、真空ポンプの修理をはじめたことがはじまり。昭和33年に昭和真空機械株式会社を設立し、水晶振動子製造用の全自動真空蒸着装置を開発、水晶振動子製造用を中心とする真空装置メーカーとして事業の基盤を築いた。その後、光学用真空蒸着装置市場にも参入、水晶デバイスメーカーや光学デバイスメーカー、その他電子部品メーカー向け真空技術応用装置メーカーとして確固たる地位を築く。小侯邦正社長が代表取締役に就任したのは、昭和61年、33歳の時。その1カ月後に先代が他界された。その後、平成12年に株式上場を果たし、平成14年に中国上海に現地法人を設立し中国での装置製造を開始した。平成16年に現在の相模原工場を建設し、本社機能や営業部門などを移転集約、令和2年には同社の真髄でもある研究開発棟を新設し、研究開発部門のさらなる強化を図った。同社の事業は、大きく真空技術応用装置事業とサービス事業に分けられる。前者は、主に真空中で特定の基板に薄膜を形成させる装置を製造・販売している。薄膜形成技術としては蒸着、スパッタリング、CVD、ALDなどがある。世界トップシェアの水晶デバイス製造装置（主力は周波数調整装置）のほか、光学部品製造装置（主力はマイクロカメラレンズ用反射防止膜成膜装置）、電子部品製造装置の3分野が真空技術応用装置事業の主力製品分野となる。特に同社の真空技術応用装置は、顧客の要望を最大限に取り入れた“オーダーメイドのカスタム装置”であることが大きな特長となっている。また、サービス事業では、真空装置販売後の消耗部品の販売、修理、改造などを扱っている。これまでに、同社は経済産業省より「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されるなど、国や県から数々の受賞・選定歴を有している。年頭に当たり、同社代表として株式上場を決断し、水晶振動子製造用真空装置で世界No.1のシェアを獲得してきた小侯邦正社長に自社経営などについて聞いた。



代表取締役執行役員社長：小侯 邦正（おまたくにまさ）
所在地：神奈川県相模原市中央区田名3062-10
従業員数：197名（2022年3月末現在）
資本金：2,177,105,200円（2022年3月末現在）
事業内容：水晶デバイス用装置・光学デバイス用装置・電子デバイス用装置等の開発・製造
URL：<https://www.showashinku.co.jp/>

- 昭和真空が長期的に目指している方向は？

当社は真空技術をキーテクノロジーとして、電子部品製造装置やそれに付随するサービスを提供しています。そのような中、「小さくて強い会社をつくろう」「ニッチトップをたくさん作ろう」を長期的に目指す会社の姿とし、これを社員とともに共有しています。“いい会社”というのは規模に関係はなく”お客様に喜んで頂いて、社員が幸せになれる会社”と考えます。当社のお客様は世界的にも有名な会社ですが、ビジネスの取っ掛かりは共同開発です。お客様の研究開発部門と積極的に情報交換しながら一緒に開発していくことが昭和真空のビジネスモデルになっています。お客様から見ると、当社の規模は小回りが利いて意思疎通が図り易い。そしてすぐに対応してくれる相手だと思って頂いているのではないのでしょうか。それを基本に良いモノを届けようという取り組みをしています。

- 昭和真空の強みは何でしょうか？

昭和真空は、1. 真空状態を作り出すためのハード技術 2. 真空中におけるロボット搬送技術 3. パソコンによる自動化制御技術 4. 真空中における成膜のソフトウェア技術という4つの要素技術を持っています。これが昭和真空の誇る真空技術です。そして水晶振動子製造用真空装置で世界トップシェア、ハイエンドのスマートフォンカメラレンズ用反射防止膜成膜装置で世界トップシェアを獲得しています。世界の一流企業における先端技術開発部門との取引を通じて、社員は仕事への動機づけが高く「やりがい」と「プライド」を常に持っていることが昭和真空の強みのひとつだと思います。

- 経営者として何を大切にしていますか？

経営資源である「ヒト・モノ・カネ」で最も大切なものは「ヒト」です。人が増えてくるとき、誰に何をやらせようのか、どういう仕事をやらせようのか、同じ価値観を持っているのか、信念をもって一緒に歩んでいけるのか、ということが一番大事だと考えます。特に経営者は、いかに同じ価値観で歩んでもらえるかということ意識する必要があります、それは社長の強いリーダーシップの取り方にかかります。

- 起業家や創業間もない方へのアドバイス

起業して間もない方は、大きな夢はあります。でもその時は、1人のバイオリン奏者にすぎません。まだ交響楽団をつくるまで至ってないのだから、まずはバイオリンの技術を高める。それによって、あのバイオリンはいいね!また聞きたいねと言って頂けることが大事。そしてその環境をつくるのが大事です。それができたら、1人呼んで、2人呼んで4人の四重奏団をつくる。そこでもいいね!と言われて少しずつ大きくなっていく。ある程度大きくなったら、バイオリン・チェロ・コントラバスなどパートごとに技術を高め、それを演奏しながらまとめていく。さらに大きくなったら、自分は演奏しないで“まとめる”ステージにいく。年商規模で言えば10億円くらいでしょうか。そしてその時々によってリーダーシップの取り方は変わります。つまり成長とともにやり方を変えることが大事ですね。そのための勉強はとても大事です。

- 昭和真空がこれからも成長していくためには？

「5Gの世界的な普及」「自動車の電動化・自動運転技術の進展」や「コロナ禍の環境下での価値観の変化」の中で、新たな技術革新が進

行し、新たな最終消費財が売り出され、新たな電子部品が開発されていきます。この循環の中からお客様が必要としている「種」を探し、「芽」を育成し、「実り」に繋げていきます。その中で、我々の成長に大切である「技術開発力の強化」と従業員の仕事に対する「本気」度を高める施策を実施していきます。

11月3日が誕生日の小俣社長は、令和4年11月3日秋の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。国や社会への功労と「真空技術」をキーテクノロジーとして地域経済の活性化にも大きく貢献。SICにおいては、平成13年6月から平成24年6月までの11年間にわたり社外取締役としてインキュベーション事業に多大なるお力添えを頂きました。ちなみに、小俣社長の趣味は絵を描くこと。平成11年当時、友人に誘われて相模原市南区にある「アトリエゆう」という絵画教室に通い始めたのがきっかけ。絵は、経営と違って誰にも文句を言われぬのが最大の魅力なのだとか(笑)。



伊勢神宮 御手洗場 (五十鈴川) / 水彩画 (小俣邦正作)

最後に小俣社長の好きな詩をご紹介します。

本気ですれば たいていな事はできる
本気ですれば なんでも面白い
本気でしていると だれかが助けてくれる
人間を幸福にするために
本気ではたらいっているものは
みんな幸福で みんなえらい
(後藤静香)

(受賞・選定歴)

- 1984年 第1回神奈川工業技術大賞 大賞受賞 (MCFクリスタル周波数調整用真空蒸着装置「SFC-71M」)
- 1994年 第11回神奈川工業技術開発大賞 奨励賞受賞 (ミニインライン方式高周波・高精度水晶調整装置「SRC-01」)
- 2006年 経済産業省「明日の日本を支える元気なもののづくり中小企業300社」選定
- 2011年「九都県市のきらりと光る産業技術」受賞 (水晶デバイス用周波数調整装置)
- 2014年 第31回神奈川工業技術開発大賞 ビジネス賞受賞 (水晶振動子用周波数調整装置「SFE-B03」)
- 2018年 経済産業省「地域未来牽引企業」選定
- 2021年 経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」選定

謹賀新年

皆様に於かれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
新たな年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年はロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の高騰や日米金利差拡大による急速な円安に加え、部材調達困難に伴う納期遅延など、少なからず企業経営に影響を与える年となりました。同時に消費者物価指数の上昇とともに企業物価指数は2022年11月時点で前年同期比9%を超える上昇率を示し、1980年以降において8カ月連続で過去最高を更新しました。こうした状況下において、今年は海外経済の下振れが懸念されています。例えば、米国経済の減速と失業率の大幅上昇、中国のロックダウンと不動産市況の大幅調整、ユーロ圏の信用収縮などで、これが同時に発生したと仮定した場合、世界経済は深刻な不況に陥るとみるものです。今年も厳しい事業環境が予測される中、私たちSICは新分野進出や事業の再構築、海外展開を含めた販路開拓及び生産性の向上などにチャレンジする地域企業の皆様の支援に取り組んでまいります。

また、昨年実施された「新しい資本主義実現会議」では、2022年をスタートアップ創出元年として、スタートアップの起業加速と既存大企業によるオープンイノベーションの推進などを通して、日本にスタートアップを生み育てるエコシステムの創出を掲げています。このような動きをSICは“千載一遇”のチャンスと捉え、相模原市をはじめ支援機関ネットワークと連携しながら、持続的かつ効果性を意識した支援活動の実施により地域経済の活性化につなげてまいります。皆様に於かれましては、兎年である新しい年が、さらなる“飛躍”の一年になりますことを心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 さがみはら産業創造センター

代表取締役

橋元 雅敏



「産業用ロボットの制御屋」が取り組む 製造現場のトータルプロデュース

入居企業紹介

83

有限会社中村電機

自動化設備の制御盤を設計から製作まで行う有限会社中村電機の中村勝彦社長にお話を伺いました。

創業 50 年を超える中村電機では、「産業用ロボットの制御屋」として培ってきた電気制御の技術・ノウハウを強みに、一品一様の様々な自動化設備の電気部門を手掛けてきました。SIC には、ファブレス化を契機に、令和 3 年 8 月より入居しています。

相模原市が推進している製造現場の自動化・ロボット導入支援。実際に自動化システムを構築するうえでは、「電気制御」が必要不可欠です。その設計・製作を担う中村電機は、地域のものづくりや市の産業施策を下支えする存在と言っても過言ではありません。

同社では、機械設備の機内配線工事・制御回路、PLC ソフト設計など、ソフトからハードまで一貫した対応が可能です。また、新規設備だけでなく、既存設備の修理・メンテナンスや改修・改造にも対応しています。さら

には、「工事だけ」や「ソフトだけ」といった部分的な依頼も引き受けており、同社には日々多くの相談が寄せられています。

最近では、旧型 PLC の更新ニーズが高まっているそうです。PLC が旧型のままだと、その故障により生産ラインが止まってしまうだけでなく、「廃版などにより代替品が入手できない」「長時間電源を落とすと再立ち上げができなくなる」「設備の改造をしたいがソフトが変更できない」などのリスク要因を抱えることとなります。そこで、機械設備の頭脳とも言われる PLC の更新に取り組むことで、工場の安定的な稼働に貢献しています。

同社では、製造現場の環境整備を含むトータルプロデュース事業も強化しています。豊富な人脈・ネットワークを活かし、顧客の課題や要望に応じて的確な取りまとめを行います。その際に心掛けているのは、企業を紹介して終わりではなく、お客様が困っていることに耳を傾け、何で困っているのかを見極め

て、その後のフォローや現場対応まで継続的に関わりサポートしていくことです。常に現場に向き、寄り添い、悩みに耳を傾けているからこそ、「困ったら中村電機に相談しよう」という声につながっています。また、ものづくりに関する幅広い知識と経験を土台に、想いをカタチにするための相談ごとに対してその糸口を見い出せることも、同社の大きな強みになっています。

「事業を通して“想いをカタチにしたい”という肩に乗った悩みを軽くしてあげたい」と語る中村社長。同時に、「次世代を担うエンジニアの育成にも貢献したい」という使命感も抱いています。中村電機は、製造現場のトータルプロデュースを通して、これからも地域のものづくりを支えていきます。

羊肉酒場 火辻

橋本駅周辺で飲食店を展開している「つきよグループ」が運営する「羊肉酒場 火辻」は、ニュージーランド産の厳選されたラムをジンギスカンなどで楽しめるお店です。店長の滝柳さんは相模原の街と人が大好き。1年前にお客様が楽しめるテーマパークのようなお店を始めました。

今回は滝柳さんのおススメで一番人気の火辻肉の盛り合わせをはじめ3品いただきました。ラムは独自の処理を施すことによって、クセが無くジューシーであり、スタッフの方に一番おいしい焼き方までレクチャーしてもらえます。また、地産地消にも取り組んでおり、相模原の野菜や日本酒、ワインを取り揃えています。

相模原愛にあふれる滝柳さんとスタッフの皆様。L字カウンターを囲みながら、オシャレなジンギスカン屋で贅沢なひと時を過ごすのはいかがでしょうか？（大谷）



火辻肉の盛り合わせ（上ラム、並ラム、マトン）



ジンギスカン鍋で焼かれる上ラムと並ラム



ラムのたたき〜特製ニラだれ〜

【所在地】神奈川県相模原市緑区橋本3-29-6

センタービル1F

【営業時間】[月～金]17:00～24:00 (L.O.23:30)

[土・日・祝]15:00～24:00 (L.O.23:30)

【定休日】なし

【TEL】042-703-5252

【公式SNS】[Twitter] https://twitter.com/H_hitsuzi

[Instagram] <https://www.instagram.com/hashimoto.hitsuzi/>

SIC 事業紹介

開催内容など、詳しくはSICウェブサイトをご覧ください。



サガツクナビ

地域密着型採用(就職)支援サービス
サガツクナビ2024 掲載企業募集!!

サガツクナビは、「地元企業の採用の円滑化」「地元企業を志望する学生の就職活動の円滑化」を目的に、地元企業と学生の出会いを“作り”“つなぐ”活動を行っている地元密着型の採用(就職)支援サービスです。

令和5年(2023年)年3月1日には、令和6年(2024)年3月卒業予定者の採用が本格始動します。年々、学生の就職活動の意欲も早まっています。サガツクナビでは、学生の動きに合わせて、2月2日(木)にサガツクナビ2024をオープンいたします。

現在、サガツクナビ2024の掲載企業を募集しておりますので、ご関心のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。



サガツクナビの主なサービス

- WEB サイトやメルマガ・SNS・YouTube などを通じた地元就活生への情報発信
- 地元企業と地元就活生の交流会
- 地元企業と近隣大学教職員との交流会
- 近隣大学や高専と連携した、将来の就活生を対象にした交流会など

※詳細はお問い合わせください。

【お問い合わせ】 株式会社さがみはら産業創造センター
サガツクナビプロジェクト (担当: 上野)

【TEL】 042-703-6321 (直)

【E-mail】 sagatukunavi@sic-sagamihara.jp

【URL】 <https://sagatukunavi.com/>



詳しくはSICウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

令和5年1～2月 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

令和5年2月2日(木) さがみはらロボット導入支援センター主催
13:30～17:00 「21世紀の製造業における必須知識! 他人事じゃない!工場の情報セキュリティ」
(会場: サン・エールさがみはら)

SIC空室情報 (令和5年1月16日現在) ※お気軽にお問い合わせください。

現在、空室はございません。
最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

編集後記

20年以上前から絵を描くことが趣味の小俣社長。
昨年5月には、親交のある方々との絵画展「傘寿・古希の三人展」(会場: ユニコムプラザさがみはら)が開催され、これまでに描きためた油絵や水彩画などの作品を披露されたそうです。
皆さんには長年続けている趣味や習いごとはありますか?



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>